

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
地方財政論	南 慎二郎	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	グローバル化・分権化・人口減少のなかで、地方自治とその経済的側面である地方財政への関心が高まっている。分権時代の自治体のあり方や公共政策を考えるためには、地方財政について学ぶことが不可欠である。本授業では、日本の地方財政のしくみと特質を解説するとともに、具体的な地方財政に関する問題や課題を検討する。						
到達目標	①地方財政に関する基本的な概念、法制度を理解し、説明できる。 ②実際の自治体の地方財政に関する問題や課題を把握し、論じることができる。						
回	学習内容						
1	地方財政論の対象領域・特徴・課題、地方財政と地方自治について						
2	地方自治と地方財政の歴史：明治～戦前						
3	地方自治と地方財政の歴史：戦後						
4	予算論：財政民主主義、予算循環、予算制度改革						
5	経費論：地方経費の規模と役割分担、地方経費の概要、地方経費の歴史的動向や今後						
6	地方税：地方税の意義と体系、日本の地方税制度の構造						
7	地方交付税：地方交付税制度の意義、地方交付税のしくみ						
8	国庫支出金：補助金制度、国庫支出金、特定財源保障、国庫補助負担金改革						
9	地方債と財政統制：地方債計画、地方債協議制度・許可制度、自治体財政健全化法						
10	公共事業と公共施設：公共投資の意義・目的、公共投資の制約と公共施設老朽化問題						
11	地方公営企業、地方公社、第3セクター						
12	公営企業による社会資本整備のケース・スタディ：上下水道						
13	自治体再編と地方財政：広域行政、市町村合併、都市制度、道州制や圏域行政						
14	災害・環境対策や社会保障と地方財政						
15	福祉・医療と地方財政、地方財政の展望						
予習内容 復習内容	予習：次回テーマである教科書の該当箇所などを読む(各回最後に指示)。 復習：その回の教科書の該当箇所や参考文献、講義資料を読む。(各回最後に指示)						
教科書	沼尾波子・池上岳彦・木村佳弘・高端正幸『地方財政を学ぶ』有斐閣、2017年。						
成績評価	試験 80%、授業内で実施する小レポート 20%						
実務経験							
その他 特記事項	地方財政は身近な行政サービスのあり方を規定するものです。我々の生活に直接的に影響し、さらには流動的に動向や制度は変化するものでもありますので、新聞やニュースでの財政や地方自治体運営に関する最新の話題にも関心を向けておいてください。						